

東日本大震災における 支援ニーズ・活動の変化

池森萌子（安藤ゼミ）

目的

- ◆ 震災後の支援活動の振り返り
- ◆ 復興の加速化につながる支援の在り方を提案
- ◆ 次の災害における支援体制の構築に関する提案

方法（調査2・インタビュー調査）

調査対象：(ボランティア)関西Mydo girlsの学生9名

(被災者)岩手県釜石市青葉公園商店街の
店舗経営者5名

調査時期：平成25年8月～9月



震災からの時期ごとの支援活動

(ボランティア側)

~半年後

- ・ マンパワーを必要とする支援

~1年後

- ・ 仮設商店街への物資の支援と集客支援

~現在

- ・ 学習支援・心のケア

(被災者側)すべての時期
で物的支援を受けたと回答

震災からの時期ごとの支援ニーズ（～半年後）

ボランティア

- ・ 衣食住の支援

被災者

- ・ 衣食住の支援
- ・ 金銭的支援
- ・ 心のケア
- ・ 職業支援

震災からの時期ごとの支援ニーズ（～1年後）

ボランティア

- ・ 住環境の支援
- ・ 物資の支援
- ・ 心のケア

被災者

- ・ 支援は必要ないという人も・・・

震災からの時期ごとの支援ニーズ（～現在）

ボランティア

- ・ 心のケア
- ・ コミュニティ形成に関する支援

被災者

- ・ 金銭的支援
- ・ 心のケア
- ・ 住環境の支援
- ・ 職業支援
- ・ 応援消費

震災からの時期ごとの支援ニーズ（まとめ）

ボランティア

- ・ 時期の経過とともに、支援ニーズが変化していると考える

被災者

- ・ 時期の経過を問わず、多様な支援を望んでいる

社会人になってからの復興支援（学生側）

社会人の
イメージ

- ・ 忙しい
- ・ 金銭的に余裕がある

難しくなること

- ・ みんなで集まる活動
- ・ 被災地に行くこと

出来る範囲での
活動

- ・ 被災地に行く支援
- ・ 被災地に行かない支援

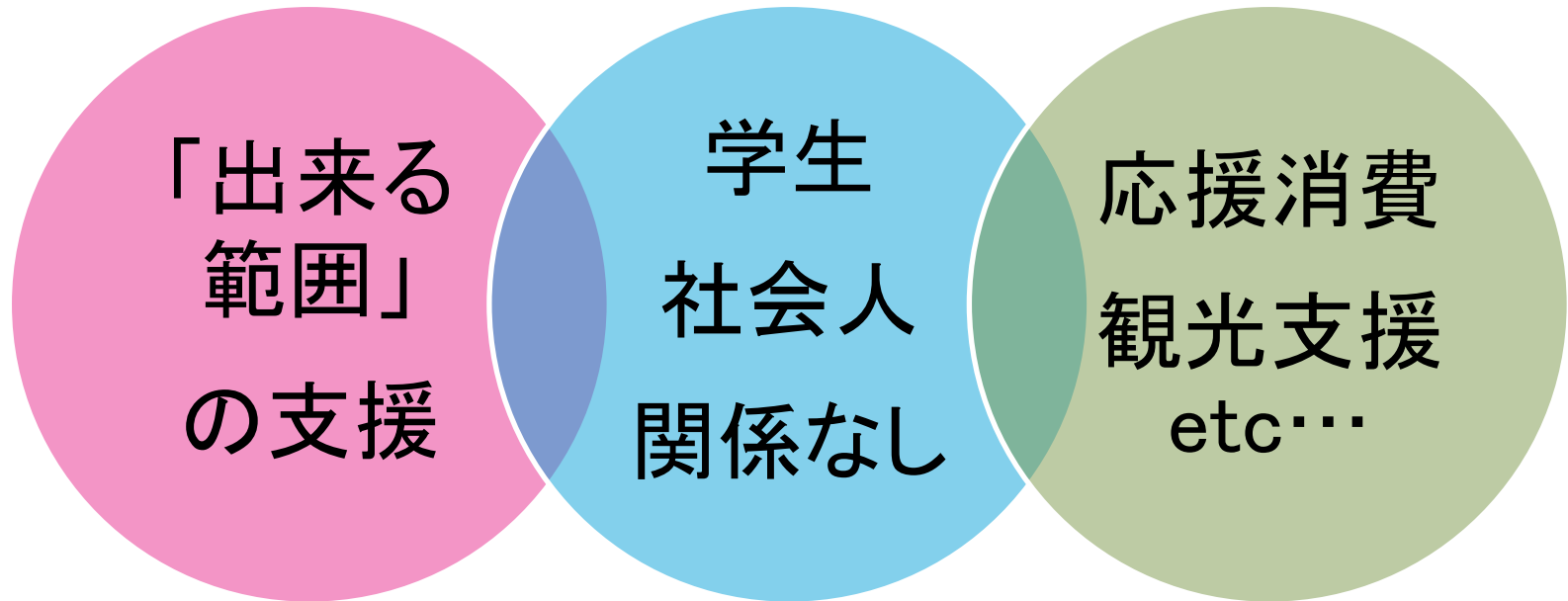
社会人になってからの復興支援（被災者側）

何らかの
形で
関わって
ほしい

それぞれ
頑張れば
いい

条件が整えば、
ボランティアに来て！！

復興の加速化・次の災害にむけて・・・





ご清聴ありがとうございました 😊

